

閲覧用

# 平成 30 年度 地域座談会 結果報告書

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
岡部支店	<p>近所でも新規就農者として挑戦している若者が出てきました。営農経済センターでも部会への勧誘、相談等努力されているのは聞いておりますが、管内では挫折された方もいると聞きました。新規就農した若者にJAとして農地の斡旋等行政とも協力して資金援助等支援をお願いしたい。また、農家の子供が就農した場合にも新規就農者と同等の資金援助等支援をお願いしたい。</p> <p>出荷者を増やすには農地の確保、基盤整備が効果的だと聞いておりますが、お考えはいかがでしょうか。</p>	<p>先に、5月25日の総代会事前説明会にて支部組織の弱体化に対する質問があった件でお答えさせていただきます。どこの支部組織でも弱体化が進んでおります。農地を守るために農業だけではなく、地域の生活環境維持でも重要な組織だと思います。行政とも連絡を密にし、時代に合った組織体制を進めていきます。</p> <p>新規就農者には公的資金援助制度があります。農家の息子さんの場合にも親と違う作物、例えば親がお茶で息子がハウス園芸を新規に行なう場合にも対象となります。所得制限等の条件もありますのでJAとしても就農計画の支援を行ないます。苺については農家に入ってもらい技術支援を行っています。施設についても離農された方の施設を使うなどの方法を行っています。基盤整備については手厚い補助金があります。農地を中間管理事業で一旦預かり補助金等にて基盤整備して担い手に貸し出す事業を行っています。その為にまとまった農地が必要ですので情報を繋げて頂きたいと思います。また主役はあくまでも生産者の方ですので手を上げて頂きたいと思います。</p> <p>まんさいかんでは店舗間配送を検討しています。R473事業でも配送システムの構築を組み立てております。</p> <p>JAでは農業経営育成塾を行っています。申告書等にて経営の勉強会を開催しています。</p> <p>国は産地育成を目指しています。支援を受ける側がしっかり整えてい</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
朝比奈支店	<p>朝比奈支店がなくなるとの情報。筍集荷の場でも集荷場がなくなるのではと生産者も心配しています。ATMは残ると思いますが、しっかりした情報を聞きたい。</p>	<p>るか、できそうな事に取り組む事、組織強化が大切です。藤枝市では新規就農者に対しての支援金制度が立ち上がりました。</p> <p>この件は事業改革委員会で月一度検討しています。今月20日に朝比奈支店の総代、支部長に意見を聞き、方向性を示して行ければと思います。集荷場は肥料倉庫としても利用しています。どのような方向性でいくか、話し合いをして検討していきます。筍生産がある限り残していきたいと個人的には思っています。支店貯金量を考えると店舗統廃合していかなければなりません。JA本体の合併も視野に入れた中で検討します。</p> <p>経営的に店舗統廃合は避けられない問題ですが、決定はしていませんが地域の方々の意見を聞きながら進めてまいります。</p>
岡部支店	<p>農業従事者として高齢化問題は深刻。主人が倒れてからは縮小しながらもみかん栽培を努力してきました。その中で頼りにしているJAが、事業実績を見ると不安です。共済は80歳で入院保障が終わり不安です。組合員アンケートを有効に活用して欲しい。岡部のお茶とみかんを衰退しないよう営農指導をしてもらいたい。</p>	<p>どこの地区でも高齢化は問題になっています。農協も総合事業として組合員の皆さんに貢献していきたいのでご意見を聞き対応していきたい。また、ただ支店をなくすのではなくて、ひとつの支店機能を充実させて対応できればと思います。現場に出向いて皆さんとともに切磋琢磨した活動が必要です。営農が柱ですので農業を続ける為にはどうしたら良いかを検討し、対応していきます。</p> <p>皆、同じ気持ちだと思います。その為に組織は大切です。女性部活動などにて、皆で共有していき、話をしながら良い方向に向かっていければと考えています。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
朝比奈支店	朝比奈支店廃止の問題は、自動車も運転できないような弱者の声も聞いて検討してもらいたい。	<p>保障については個々に変わっていきます。その人にあった保障をLAと相談していただければと思います。共栄火災も扱っておりますのでお問い合わせ下さい。</p> <p>今回の会合のように来ていただきお話を聞く事も大事だと思いますが、そちらに向向いていき現場の生の声を聞きながら検討していくことが大事であると認識しています。</p>
朝比奈支店	今回のてん茶事業の問題は残念に思いましたが、てん茶3工場は農協に大変協力している。特例ではないが朝比奈支店を残してもらいたい。	<p>朝比奈地区は少子高齢化、買い物難民の問題があります。話し合いをもちながら検討していきます。</p> <p>信用金庫も合併を進めています。JAハイナンは17支店を2年間で6支店、JA掛川市は14支店を4支店にする構想。金融共済の利益が営農経済をカバーしてきたが利ざやも減少し、運営が厳しくなっているのでご理解願います。</p> <p>金融店舗車両が来年3月に納車されます。運行には距離等条件があり検討しています。食料品販売車両も同行するか検討しています。国の政策も変わるので隔日営業、休日営業も検討しています。地元の要望を聞きながら検討していきます。スマホで残高照会、振込ができるようになっていきますので職員から聞いて頂きたいと思います。</p>
岡部支店	JAとびあ浜松にみかん視察研修に行きました。JAとびあ浜松の若い女性指導員は長崎県の西海に行って勉強	<p>営農部を中心に力を入れていきたいと認識しております。</p> <p>「追加回答」</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
朝比奈支店	<p>し、技術を取得し、農家と協力して10年かけて「天下統一」と名付けたみかんのブランド化に成功した。専門的知識を持ったスペシャリストは必要だと思いました。</p> <p>てん茶事業の件、臨時総代会の3議案は詳しくわかりやすく説明して欲しかった。筍の集荷方法を改善して欲しい。20日の朝比奈支店統廃合の会議は多くの方に参加してもらいたい。以上、意見として聞いて下さい。</p>	<p>一昨年より、毎年若手職員をタキイ種苗に出向させ、営農技術を徹底的に一年かけて学ばせています。また、提携先JAである北海道のJA道央にも職員を出向させ、こちらには無い農業技術の習得をさせており、こちらに帰ってきた際には先頭に立って組合員のみなさんに学んできた知識を提供できるようにしていきます。</p>
朝比奈支店	<p>てん茶事業については生産者は理解してなかった。取引業者が異議を唱えて廃止となったが、内容がわかってきたら農協執行部が間違えていたと思う。過日、5日の会合では茶商が言っているからではなく、農協が自ら事業をすすめていく姿勢が欲しかった。また、本店と営農経済センターとのやりとりが十分にいけないようで、内部で話を煮詰めてから会合をもってもらいたかった。もっと地域にあった話をして欲しかった。</p> <p>てん茶は30年前からやっています。もう少し早く理解してくれていればと残念に思う。もっとまわりを見てもらいたい。</p>	<p>てん茶事業の問題は申し訳ありませんでした。丸七製茶さんから棚施設での高品質のてん茶が欲しいと伝えて欲しいとの約束があり伝えさせて頂きました。JAとしても取り組んでいかなければならない。丸七製茶さんはてん茶に力を入れてきてくれました。農協も藤枝、朝比奈のてん茶に力を入れていきます。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
立花支店	<p>まんさいかん藤枝の建築費2億、立体駐車場が4億と聞いている。R473の事業費は34億かかるようだが、組合員もよくわからない中で新しい事業を進めるということでも心配している。建築費がまんさいかんの12倍なのに売上計画が倍ではおかしい。組合員のお金を有効に使ってほしい。慎重審議して欲しいし、総代会で決定事項を言われても困る。ただ聞いているだけでは仕方ない。積水ハウスが55億だまされた例もあるので、十分に注意して進めてほしい。</p> <p>まんさいかんの売り上げが少なくなっている。立体駐車場を含めて、今後の運営はどうなるのか。R473の事業よりも先に取り組むべきではないのか。コンサルタントからいい情報が入っているならどんどん教えてほしい。そのほうが組合員も安心できる。</p> <p>あぐりセミナーの講師が好評でまんさいかんへの出荷者も出てきていると聞いたが、講師が高齢で今後を心配している。戦力になるような形でJAの運営をしてほしい。</p>	<p>決定事項については慎重を期して進めていきます。</p> <p>R473の事業はこれまでJAが経験したことのない手法で進めることになります。意見は真摯に受けとめて取り組みたいと思います。</p> <p>野菜作りの先生が良く、あぐりセミナーは好評価をいただいております。組合員に喜んでもらえる職員を増やしていきたいと考えています。特にこれからは金芽米なので、先進地に職員2名を派遣して栽培技術を勉強させています。</p> <p>総額34億は大きな反響がありました。34億は予定額で、人事交流がある静岡銀行の地域創生部でも精査して頂いております。土地取得の8億は地権者に税金が発生しないよう、島田市の配慮で土地開発公社を入れる計画で進めています。コンサルタントの前田さんは、まんさいかんと営経センターが連携する仕組みができていないことを問題としています。まんさいかん4店舗の収支改善をしていき、マルシェと併せて全体の底上げを考えています。マルシェは直販と共販をミックスした新しい形態で事業を組み立てています。レストランは一流のシェフの監修を受けたものと、地元のレストランとしての機能を加えてものと考えています。またまんさいかん藤枝については、中心市街地活性化事業として一刻も早くやるべき事と考えています。営経センターの施設の組織変えがネックになり立ち消えになりかけている状況だが、なるべく早く実現できるように支援していきます。</p> <p>中心市街化の件で、10/12の事前説明会で、藤枝の理事が進めないからとの説明があったが、地域としても早急にとりまとめていきたいと思えます。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
葉梨支店	<p>自己改革と地域農業のあり方を考えるとあるが、少人数で話を進めている感じがある。マイナス金利もありJAの経営も苦しいはず。大きな投資をするには相談する範囲を広げるように、たくさんの人の意見を取り入れるようにしたらどうか。組合員に相談して底辺を広げるような三角形の形にしてほしい。今の経営は役員主導で逆三角形の形になっている。こんなJAのやり方は嫌だから取引を他へ移したいという組合員もいる。</p>	<p>おっしゃる通りだと思います。地域座談会もそのうちのひとつ。事業を始めるには理事会に諮るだけでなく運営委員会等で地域にわかるようなご相談の機会をもって進めていきます。</p>
大洲支店	<p>農業を取り巻く環境が厳しく、高齢化、後継者不足、耕作放棄地等の問題がでている。農林課、JA、農家の三者で検討委員会を立ち上げて問題解決にあたってほしい。</p> <p>農機具の老朽化。リース事業や中古農機を活用した仕組みをお願いしたい。大井川用水の調整で使用する時期は調整できると思う。</p>	<p>リース事業は焼津でも出ました。使う時期が重なり難しいとは思いますが、工夫することも含めて継続して検討していきたいと思います。農業委員会でも心配しています。</p> <p>「追加回答」</p> <p>農機具リースについては、水稻やお茶の使用時期が集中し要望に応えるためには相当数の台数を保有する必要があります。また、農機具をレンタルした場合、償却費やオフシーズンの維持管理費等を算出した場合、1回当たりのレンタル料が割高になり固定資産として保有して原価償却したほうが費用的に安くなることも考えられますので、現時点ではリース事業の実施は困難と考えます。</p> <p>どこの地域でも同じ課題になっている。農業委員会も入れてしっかり取り組んでいきます。</p> <p>農業委員会だよりも出ていたが、立花・広幡では農業委員の声掛けで地域の水田を有効利用する取り組みを始めています。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
稲葉支店	<p>藤枝市内でも農業環境が違う。JAの関心が薄いと感じる。耕作放棄地、鳥獣害で生活環境が脅かされている。深刻な問題なので、資材を販売するだけでなく、部農会組織を活性化させて対応して欲しい。JAは積極的な関与を。</p>	<p>鳥獣害、耕作放棄地、後継者の3つは大きな問題。JAだけでなく地域を巻き込んだ議論を進めるのが一番と感じます。若者の中には農業をやってみたい人がいます。あらゆる手を使って対処していきたいと思っています。</p>
座長	<p>東部地区で耕作放棄地の対策に尽力いただいている〇〇支店の〇〇さんが参加していますので、ご意見をお願いします。</p>	
広幡支店	<p>たくさんの田を受託し米作りをしている。受託作業が多く、自分のものは後回しになり、品質、価格とも落ちてしまう。土地改良してきた経過を守るためにも頑張っていきたいと思っているので、魅力ある環境作りをしていかないと担い手は育成できないと思う。</p> <p>R473で34億、会社設立で7,000万を使う計画になっているが、いつ建てたのかわからないような支店もある。南海地震も騒がれているので、安全性も含め考えてもらいたい。</p>	<p>管内41店舗ある。今の施設でいいのか事業改革委員会で優先順位を協議し計画しているので、ご理解していただきたい。</p> <p>「追加回答」 農業を取巻く環境は少子高齢化による人口の減少、農業従事者の高齢化による生産基盤の縮小が進むことに加え、長引く低金利政策によりJAの収益環境の悪化が懸念されている。事業改革委員会では、店舗の経過年数や老朽化も含め事業所の機能再編成を進めています。</p>
青島支店	<p>LEDを使用した街灯が増えている。水田にあたる影響は。LEDをつかった野菜もあるがどうなのか。</p>	<p>光害があり生育に影響を与えている。生育に影響を与えない波長のLEDも発売されているので、被害が顕著になってくれば行政にも対応していきます。野菜の生育には活用されているが、まだコスト高で実用には至っていません。</p>



**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
大洲支店	<p>九州へ苺の視察に行ったが、指導員もいないので参加者から質問もでてこない。指導員がいないと新しいことも導入しない。</p> <p>補助事業の助成が2割から1割になった。</p>	<p>苺に限らず他の部門でも指導員は必要。人材なのですぐにはできないが考えています。職員を派遣させるだけではダメなので、方法も考えていきます。</p> <p>予算配分によって助成を見直しています。次年度以降の要綱作成時には検討していきます。</p>
葉梨支店	<p>あぐりセミナー4が平日のみで土休日には開催しないのか。仕事を持ちながら参加を検討している若手から参加できないと相談があった。</p>	<p>今はないが、これからは土日開催も考えていく必要がある。</p> <p>貴重な意見として考えていきます。</p> <p>「追加回答」</p> <p>あぐりセミナー受講者は、まんさいかん出荷者になって頂くためセミナー受講者が増えることは歓迎します。土・日曜日の開催ですが、受講希望者がある程度の人数がまとまれば農協としても積極的に考えていきます。</p>
高洲支店	<p>偽造、ねつ造に対する農協の肥料や農薬、販売物のチェックや確認はどうなっているのか。</p> <p>上半期の実績が軒並み減少しているが、今後の見通しはどうか。</p>	<p>販売している肥料農薬は適応性のチェックや設計に基づいて作っているので、安心して使って大丈夫です。</p> <p>前年対比でほとんどの項目が減収で心配になると思います。役職員に課せられた責任として、利益計画は何が何でも達成させます。利ザヤが縮小し販売も厳しい状況だが、原点にかえって役職員が同じ方向を向いて取り組んでいきます。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
立花支店	一番心配なのは組合長の体調。新プロジェクトに取り組めるのか。	組合長に対する温かい励ましありがとうございます。毎週火曜日に診察を受け、月に一度の診断書が提出され、医師の診断に従っている。杖はついているが気力はしっかりしています。また皆様にはご心配をお掛けしていますが、必ず回復するものと信じています。

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
豊田支店	<p>市街化区域の水田については、稲作がやりづらくなっている。大井川農協して農政との連携等、これからの未来について考えを聞かせてもらいたい。</p> <p>ジャンボタニシの被害について、各地域の対策等を広報誌で紹介してほしい。</p> <p>回覧の注文書については、何年も同じ肥料、農薬が載っている。新しい商品は扱えないのか。</p> <p>水田雑草ハンドブックを備え付けてもらいたい。</p>	<p>市街化区域の農地については転用が可能なことから、どのような用途が有効か営農経済センターあるいは農業支援センター等にご相談下さい。また市街化区域内においても農地集約等、行政と連携を図り、保全等に協力していきたいと考えています。</p> <p>さらに各営農経済センターより情報提供していますが、全体としての対策となると反省点もあります。今後、各センターでの対策を調査し全体としての方向性を出していき、広報誌等を活用し情報発信していきます。</p> <p>また、ジャンボタニシ対策の農薬には、市と農協が補助金を拠出しています。その効果は分かりませんが、最近、タニシが減ってきたように感じています。</p> <p>「追加回答」</p> <p>尚、「スクミノン」・「スクミンベート」・「ジャンボたにくん」の使用に対して、補助金があります。補助率は20%です。</p> <p>各種の講習会等では、新しい商品を紹介しています。今後、各センターに指示して、要望に応えられるよう検討・指示していきます。</p> <p>営農経済センターには備えつけていますが、みなさんが分かるように周知していきます。</p> <p>年3回、水稻の栽培講習会を開催しています。その際、ハンドブックをメーカーから提供しております。また注文書につきましては、時期に合わせて回覧させていただいています。尚、講習会につきましては、年間を通じて行っていますので、ご利用頂きたいと思います。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
	<p>各部会の担当職員分かるようにしてほしい。これからの就農者や部会に入っていない生産者がどこに相談したらよいか分からない。</p> <p>タキイ種苗で研修を受けた職員を、農家と顔を合わせて栽培指導ができる部署に配置したらどうか。</p> <p>賑わい交流拠点について、金谷の知り合い農家に聞いたが、周知されていないのではないか。</p> <p>J A大井川の職員として、挨拶を徹底して頂きたい。</p> <p>質問は以上ですが、これからは、幹部職員が率先して若</p>	<p>本店、各営農経済センターへの相談依頼等に対しましては、担当職員が迅速対応するようにしていきます。</p> <p>現在、研修を受けた職員が3名います。今後、各営農経済センターに最低1名は配置できるよう、また専門学校で培った能力を活かせるような人事配置を検討していきます。</p> <p>川根地域はお茶が主力だったが、価格低迷等で業績が低迷しております。これからは、複合経営として、営農経済センターを中心に野菜も手掛けて行くなかで呼び掛け強化していきます。</p> <p>販売先という出口が重要であり、賑わい交流拠点は、農家組合員が、安心して野菜を生産できる出口にしたいと考えています。</p> <p>新聞報道が先行して、我々に話がなかったという感情が、しこりとして残ったという傾向が若干みられます。</p> <p>関係する営農経済センターの職員に、地元が活性化していないことを伝え、奮い立たせる仕掛けを講じるよう指示していきます。</p> <p>「追加回答」 「あいさつ」はお客様に良い印象を与えるだけでなく、自分のためにするものであり、人間関係作りに欠かせないものであります。今後、気持ちのよい、明るい挨拶ができるよう周知徹底していきます。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
<p>和田支店</p>	<p>い職員を育て、組合員から必要とされる組織に改革してもらいたい。昨年は座談会の結果報告がなかった。今年もないのか。</p> <p>和田支店の今後について、事前説明会で建替えを検討しているという回答を得たが、その後の状況を聞かせてもらいたい。</p> <p>農家の高齢化、後継者不足から耕作放棄地が増えている。今後、行政等と連携して、どんな取り組みをしていくのか。</p> <p>以前、農業機械のリースについて、使用する時期が集中するので難しい。今後、検討していくとの回答を得たが、その後の状況を聞かせてもらいたい。</p>	<p>地域全体の座談会が終了した時点で、結果をまとめ、統括本部長を通じて各支店に送ります。また支店長が窓口、各会合等でお知らせします。</p> <p>事業改革委員会や焼津地域の理事の考え方として、港支店と重複する部分はありますが、和田支店の将来性等から、これからも総合支店の位置づけと考えています。大富支店の道路拡幅による建替えが先になりますが、焼津地域のなかでは和田支店を優先的にと考えています。</p> <p>農地は農地として有効活用していかなければなりません。塩害地の「イ草」のように放棄地化させないことができる作物を推進していきたいと考えています。管内の農地は、住宅地に混在しているのが特徴で、耕作放棄地は生活環境の問題でもあります。農地中間管理事業等で、農地を担い手農家に任せる対策を取っていきます。</p> <p>また現在、10ヘクタールの農地集積を計画していると聞いています。農地の問題は農業支援センターを活用していただきたいと思います。</p> <p>さらに市の農政課では、学校給食に地元産の野菜を使うことを推進しています。</p> <p>やはり使用する時期の問題で、現状では難しい。</p> <p>「追加回答」</p> <p>リース契約の場合の年間リース料は減価償却費相当額と金利手数料が含まれてきますので融資を受けて購入し自己保有した場合の経費と大差はなく費用軽減効果はほとんどないものと思われます。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
大村支店	<p>肥料、農薬の販売価格について、農協の商品は質が良いから量販店より高いとのことだったが、先日購入した農薬は、量販店と同じものが高かった。全国レベルの仕入れを考えれば、もっと安くできるのではないか。</p> <p>各支店にある精米機に、色選別機を導入できないか。</p>	<p>レンタル契約の場合も水稻やお茶の収穫関連農機具等の年間で使用時期が一時に集中する農機具の要望が強く、多くの組合員の要望に応えるためには相当数の台数を保有する必要があります。</p> <p>これらの農機具をレンタルした場合、その償却費やオフシーズンの維持管理費からレンタル料を算出した場合、一回当たりのレンタル料金が割高になり固定資産として保有して減価償却したほうが費用的に安くなることも考えられますので、現時点ではリース事業の実施は困難と考えます。</p> <p>15年ほど前お茶の乗用摘採機のリース事業を国の補助金を受けて実施しましたが、補助金を受けた場合においては費用軽減効果がありましたが、摘採期間の重複からリース機械が利用されないケースも散見され、農機具リースの難しさが露呈されました。</p> <p>また課題はありますが、今後も検討を重ねていきます。</p> <p>定期的にホームセンターの価格調査を実施しています。中には農協の方が安いものもあります。また当農協は、予約奨励を基本にしていますので、是非ご利用をお願い致します。</p> <p>以前、業者と交渉しましたが、色選別機は、精米する米によって調整が必要で、採算が合わないとのことでありました。色選別機を持っている大型農家に協力して頂くよう、営農経済センターで斡旋しています。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
	<p>旧八楠支店にあった米の低温倉庫の跡地利用について教えてもらいたい。</p>	<p>管内には遊休地が数件ありますが、旧八楠支店については、価値の高い土地であるので有効活用していく方向で検討しています。しかしながら、現段階では具体的には決定しておりません。</p> <p>跡地利用については、役員から検討を指示されています。そこで近隣の施設で困っている部分に供することが優先されることから、焼津市にその旨を伝え、強く申し入れております。したがって旧八楠支店の施設については、ATMも含め地元の人に活用していただいた方が良いと考えています。</p>
<p>東益津支店</p>	<p>事前説明会で説明のあった賑わい交流拠点については、農家所得を上げるということで良いことだと思う。キタハイを中心に野菜作りに取り組んで行く中、作物別の出荷計画を立てていくと思うが、計画に達しない場合に売り場面積の縮小があるのか。</p>	<p>臨時総代会では、いろいろな意見をいただきました。中には、心配するご意見もありました。</p> <p>生産物を組み立てていく中で、地元の営農経済センターにおいて、職員が知恵を出し合い、お互い考える良い機会だと考えております。</p> <p>また、会社経営ですから、出荷物を確保できなければ売り場面積について、柔軟な対応をせざるを得ないわけですが、そうならないためにも、今から1年半、営農職員による声掛け、いろんな角度からの提案ができる仕組みを考えていきますので、よろしく願います。</p> <p>現在研修を修了した職員が3名おります。その内1名は指導購買、残り2名は主にアグリセミナーを担当し、スキルアップを図っています。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
柑橘部会	<p>タキイ種苗の研修生について、やる気があるのは承知しているが、技術が伴わなければ指導は出来ない。他の職務との兼任でなく、農家を指導しながら農家の人から学んでもらいたい。</p> <p>営農指導をこれからも充実してもらいたい。 広報誌にも掲載されたが、農業技術員の表彰制度を役員に考えてもらいたい。</p>	<p>アグリセミナーでは、営農指導員だった元職員とともに受講生を指導しながら自らも学んでおります。</p> <p>尚、今後も継続して、若手職員の育成に取り組んでいく計画です。</p> <p>「追加回答」</p> <p>営農部では年に一回営農指導員発表大会を開催し、その優劣を審査員により審査しています。ここで優秀な成績を収めた指導員は毎年3月に開催される役職員大会において優良営農指導員として表彰を受ける機会があり、営農指導職員のモチベーションアップに繋がっているものと考えております。</p>
大富支店	<p>賑わい交流拠点の運営会社が設立されて、構想から実行に進むことになるが、仕入、販売、品質の確保等を全て行い、結果として農家・出荷者に利益の還元ができるように運営してほしい。</p> <p>新しい配送計画を構築予定とあるが、農家・出荷者の利便性に配慮してほしい。 マルシェでは、品質の充実を考えれば地元産だけでなく、他県からの物も販売することになると思うが、負けないように品質を管理し、集客を上げて成功させてほしい。</p> <p>経営の大きな農家を回ったが、この件を知らない人がいる。周知についてどう考えているか。</p>	<p>周知されていないというご意見は他の地域からも聞いております。今回のプロジェクトは、東京のコンサルタントを入れて、施設の具体的な機能はオープン時に公開して、集客をする予定でした。</p> <p>しかし、一部始終を秘密にしていたのでは話になりませんし、組合員の資金を活用させていただく事業だからというやり取りをした経過もあります。先般、臨時総代会で会社設立の承認を得ましたので、これからは、多くの方々に周知をしていきたいと考えています。</p> <p>遠隔地からの集荷については、なるべくたくさんの方が出荷できる仕組みを確立する予定です。他県からの農産物については、業務提携をしている農協も含めて、売上に貢献できる品揃えを考えていきます。</p> <p>また管内農産物と競合しないよう配慮して、季節感が出るものを入れる計画で、お客様が満足できる店舗を作り上げていきたいと考えていま</p>



**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
	<p>年金感謝デーに行けない人に、年一回の訪問して交流を深められないか。</p> <p>学校諸会費がJAでもできるようにして頂きたい。</p>	<p>す。</p> <p>年金感謝デーは、年2回、各支店においてそれぞれのやり方で開催し、来店者には、粗品等をプレゼントさせて頂いております。ご来店できない方については、そのままになっていると思われますので、支店の対応を調査して、何らかの手当てをしていきたい。</p> <p>「追加回答」</p> <p>ご家族の方でも対応できるようにしていきます。</p> <p>また、当日来店できない方に対しても月内であれば粗品等のプレゼント対応をさせて頂くよう周知してまいります。今後も年金会員の皆様により良いサービスを提供できますよう取り組んでまいります。</p> <p>「追加回答」</p> <p>学校の事務関係は、その対応をJAが決定することはできません。あくまでも学校側の依頼により取引金融機関が決定されます。また事務の煩雑さにより、取扱い金融機関を増やさない学校があり、現状の変更が難しい状況となっております。お客様には大変ご迷惑をお掛けしますが、現状どおりとさせていただきます。</p>
小川支店	<p>水稻栽培において、大型機械で効率的に作業をするためには、小さい圃場の畦畔を取ることが必要になる。圃場の整備には、経費がかかるが、今までは、ほとんど自腹だった。昨年から行政の補助が出るようになり、多少は楽にはなった。</p> <p>耕作放棄地削減のためにも仕事を受けているが、畦畔の</p>	<p>現在農地集積については、円滑化、中間管理事業で進めています。しかし農地を集積しても、畦畔を撤去しなければ、効率化はできません。</p> <p>あくまでも地主の財産ですので、お互いの合意の中で、農協が調整役として入って進めていきたいと考えています。</p> <p>また、畦畔の問題については、市の農政課はもちろん、農業支援センターにも相談して頂きたいと思います。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
<p>静浜支店</p>	<p>撤去について、地権者の同意が得にくい現状がある。行政にも依頼するが、農協でも、畦畔の撤去に同意が得やすくなるような、キャンペーンができないか。</p> <p>ここ近年の猛暑・酷暑等の異常気象が続いている状況の中、栽培管理には苦労があると思われませんが、①水田の水管理について朝・昼・晩毎回見て回り管理できればいいが、なかなか勤労者世帯も多く難しい状況である。焼津地区の一部でセンサーを導入し、管理されている地域があると伺ったが、現状設置されている地域の状況と今後は他のエリアにも増設するのかお伺いしたい。</p> <p>本日の座談会へ参加したいが日中仕事の関係で参加出来ない人もいるため、時間帯を夕方に変更する事が可能であるのかの2点についてお伺いしたい。</p>	<p>現在、コメ戦略課で水管理の省力化を図ることを目的に ICT のセンサーを利用した水管理を今年度試験的に導入（名称・パディーウォッチ）しました。携帯電話にて水温管理等も可能なシステムであります。試験導入したばかりで最終的な結果はこれからであります。本日出席の枡村理事が試験導入されたので状況等の報告を枡村理事よりお願いします。</p> <p>圃場4カ所に6月田植え時期より10月までの期間に設置します。水位、水温管理等が携帯電話で確認出来る事から省力化が図れます。現在は、東益津、大富地域で設置、いずれは水門管理等も出来ることから、今後は地域ごとに設置すれば農作業の効率化も図れます。ただし現状のシステムは高額であるため、今後コメ戦略課と検討していきます。</p> <p>今回の座談会が最初の開催であり、多くの人の参加を望むことから会議時間帯については、今後常勤役員や地元理事と相談しながらご要望に答えられるよう検討していきます。</p>
<p>相川支店</p>	<p>要望を含めて2点です。</p> <p>①4月に各地域で支部長の交代がある。毎年各支部の正組合員・准組合員の名簿の提出をお願いしているが、個人情報等のコンプライアンス上農協からは名簿の提出をお断りさ</p>	<p>①名簿の正・准組合員の名簿の依頼については、個人情報保護法の観点から法の改正もあり大変厳しくなっている状況であります。ご理解を頂きたいところでありますが、なんらかの形で支部長の皆様にご提示出来るように検討していきます。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
相川支店	<p>れるが、是非とも支部長には部外秘で結構なので名簿を出していただきたい。②今年度退職し、兼業農家から専業農家になり野菜作りを始め営農指導を相談したいが、誰が営農指導の担当者かわからない事から、名刺、名札に明確に営農指導員とわかる様をお願いをしたい。</p> <p>現在、各部会に担当職員がいるが販売が主で、生産に關しての営農指導員が少ないと感じる。以前より営農指導員の充実と専門職としての育成がされているか疑問に思う。出来れば来年の人事で任命し営農指導員のプロの育成を願いたい。</p> <p>営農経済センターに配属されるよりかは、営農指導員は単独の部署から生産者宅へ訪問をし相談窓口にするのが良いのではないか。また、外部に出向に出さなくても営農指導員育成には地元の生産者に教を乞うことのほうが早く身につくのではないか。</p>	<p>②名札については、営農指導員が誰であるか明確にわかるように検討した中で、組合員から気軽に営農相談していただける様な体制を構築していきます。</p> <p>営農指導員は生産者にとっても大切ですが、農協の顔であると感じています。現在、タキイ種苗へ出向し3名が栽培のプロを育成し、来年度も2名出向を予定し、今後も営農指導員の強化を図っていきます。また、出向者を営農経済センターへ配置し営農指導員を充実させたいと考えていますが、ただ、営農指導員育成には時間が必要だと思っています。</p> <p>あるJAでは、篤農家に期間を限定し、農協営農指導員へ研修させて育成をしている農協もあると聞いています。内部でも十分に検討した中で営農指導員体制の充実と育成体制の構築を図っていきます。</p>
静浜支店	<p>私も営農指導員の強化と農薬に対するプロの育成を望んでいる。</p>	<p>営農経済センターに渉外担当者を配置し、1日20件以上の訪問活動を行い組合員の相談窓口の体制を図っています。また、店舗窓口女子職員への農薬の勉強会も定期的に開催しています。</p>
相川支店	<p>支部長として組合員へ回覧物を配布しているが、開催期間、締め切り等が部落の件数が多いと、ぎりぎりになってしまうことからイベントチラシ等はもう少し余裕を持って配布してほしい。</p>	<p>広報誌の配布時期に関しては、印刷の関係も有り難しいですが、チラシ・パンフレットは関係部署に指示をし、余裕を持った中での対応を依頼いたします。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
相川支店	<p>広報誌の配布に際して、認識の中では農協に出資をされている方に配布しているが、部落の中には広報誌をみたい方もいる様だが、本部としての配布基準をお聞かせ願いたい。</p>	<p>各地区によって配布基準は様々であります。やはり農協としていろいろな方に広報誌を見ていただける様に部数も余裕を持って印刷しているので、各支店にて対応をしていきます。</p>
相川支店	<p>先般の台風24号では苺生産者もハウス等の被害も多発した中で、農協としての具体的な支援、対策は検討しているのかお伺いしたい。</p>	<p>管内のハウス農家への被害も多いために補助等などの支援を内部で検討中であります、早急に大井川農協として対策等をご案内したいと考えています。</p> <p>「追加回答」</p> <p>J Aより供給させていただいたビニール等の資材について、現在経済連より助成させていただく事を検討しておりますので、決定次第ご報告いたします。</p>
相川支店	<p>2年前に経済連と肥料工場に視察に行った時に各農協単位の配合肥料があり大井川農協には無い商品もあったなかで経済連が融通して大井川農協にも入荷できるようにならないかお伺いしたい。</p>	<p>各農協単位で配合肥料は経済連に発注しており、サンプル等の話は経済連に繋げたいところですが、発注に関しては、ロットの問題と価格の問題も有ることから、当組合の生産者の方には低価格で良い商品の提供を心掛けていますのでご了承を頂きたいと思えます。</p>
初倉支店	<p>ここ数年同じ質問をしている。</p> <p>初倉、湯日支店の施設が老朽化しているので早く整備をしてもらいたいという要望です。</p> <p>3年前から初倉支店、船木支店、湯日支店の総代、部会長で協議会を立ち上げ農業振興、施設整備について検討してきた。また、昨年7月には組合長、専務、地域理事、局長、部長、地元運営委員の参加の下、初倉地区施設整備構</p>	<p>初倉スタンドについては地下タンクの期限到来による閉店、船木支店の統合についても地域、組合員のご理解を頂いた中で進めていくという方向になっています。初倉地域の統合の問題については事業改革委員会の全体的な施策の中で方向性を出し、地域のみなさんのご意見を聞きながら進めて行きたいと考えています。</p> <p>尚、初倉、湯日支店については事業改革委員会のなかで検討しており、湯日支店は大型乗用茶刈機の整備、初倉支店は施設内の他の施設集約も</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
初倉支店	<p>想検討委員会が開かれているが進展がない。その状況下でガソリンスタンドが閉店、船木支店の統合、理事の数も削減される。老朽化した施設がそのままの状態での閉店、統合が進んでゆくのは困る。農協はどんな方針をもっているのか伺いたい。</p> <p>集荷施設・予冷施設が老朽化し、かなりの修繕費もかかっていると聞いている。</p> <p>先般、香川県の取組みを視察にいった。収穫したレタスだけ集め、調整・梱包・箱詰・出荷する施設である。本来の目的は、高齢化した農家の為につくられたが、最近では新規参入者が活用するようになり更に増設したとのこと。</p> <p>もしJA大井川でも導入できれば農家の設備投資が減り新規生産者の増加、収量、面積を増やすことが可能となり、大井川レタスの評価は上がると思います。</p>	<p>含め検討しております。また現在、倉庫等も含めた店舗配置について、経済連に設計依頼しておりますので、出来次第、事業改革委員会を通じてお知らせします。</p> <p>初倉地域はレタスの栽培に力を入れ、取り組んでいますので今後検討していきます。</p> <p>「追加回答」</p> <p>レタスに限らずイチゴにおいてもパッキングセンター設置の要望はあります。今後は各部会と調整を取り、将来の生産計画を拡大方向に導くためにもパッキングセンターの設置は事業改革と共に検討を進めて行きます。</p>
島田支店	<p>JAの自己改革では、農業者所得増加等3点を掲げているが利益追求についてもっと取り組まなければならないと考える。</p> <p>事業利益の大幅な減少、計画時に掲げられた人件費の削減は逆に増えている。信用事業では運用を重点的に取り組むべき、共済事業では短期が重要と考える。具体的な方法を出していく必要がある。</p> <p>現在、部門別で出されている損益を統括本部別に、利益追求をするシステムを作るべき。</p>	<p>日銀のマイナス金利政策等で、特に金融事業においては、利ざやが縮小しており、収益確保が難しい状況にあります。</p> <p>農家所得の増加は重要な目標ではありますが、組合員・利用者の皆様に対しましては、安定的な経営基盤であることが重要でありますので、利益確保は農協経営の基本として真摯に受け止めたいと考えています。</p> <p>また農協では利益追求という概念が今まではありませんでしたが、時代は変わってきております。ご指摘のとおり人件費を下げての苦しい事業計画を立てざるを得なかった実態があることにつきましては、ご理解頂きたいと思っております。また統括本部別の損益だけではなく、更に掘り下</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
大津支店	<p>そうすることによって地域の問題点が明確になり、地域毎具体的な活動ができると思う。</p> <p>大津給油所の平成34年までの継続について、はっきりとした返事がない。その後の継続についてはどうなっているのか。</p>	<p>げた支店別の損益分析を行った上で支店再編を行っていき、その中でどこがどのような課題をもっているか分析を現在行っております。</p> <p>全ての店舗で同じやり方で業務を行うことが、事務ミスの発生要因となっていることから、共済の保全、引き受け、融資の受付等の機能の集約等を進め拠点に集中させる等、数字に見えない部分での改革を進めているところでもあります。</p> <p>シャネンの上期決算状況は、更に厳しさを増している。要因はスタンドによるところが大きい。利用者にご努力頂いた事は有難く思うが、ガソリン業界そのものが厳しい状況であることもご理解頂きたい。子会社のことですので、この場では明言はできませんが、基本的にはこの状況をご理解頂きたい。</p>
湯日支店	<p>店舗が半分くらいに減ると聞いているが、それでは農家が離れていくばかりで量販店等を利用するようになる。農家が置き去りにになっていないか、もう少し違う方法はないか。</p> <p>大型農機具を購入するとき市から80万円の補助があるがJAではそういう制度はないのか。また導入することは無いのか。</p>	<p>強い戒めと受け止めます。まさしくその部分が基本であり、そのことを踏まえた上で組合員の皆様にご不便・ご迷惑が掛からないような店舗統廃合を行っていきます。</p> <p>現在そのような制度はない。今後内部で検討していきます。</p> <p>「追加回答」</p> <p>JAが組合員に対して補助金を出すにあたっては、地域の農業形態をどのような方向に導くかを明確にして、その推進方策として費用を捻出しています。現在は農業振興補助事業として補助金制度を設けていますが、この要綱に定めている補助メニューは、JAが将来の管内の農業のあるべき姿に近づけるため、組合員の経営を補助するものです。質問の</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
	<p>自己改革とは農協職員の自己改革なのか、話をきいたが農家にとって具体的なものが見えない。</p>	<p>あった通常農機具については、供給を担っている購買部門において必要最低限の手数料にて供給し、より良いものをより安く提供しており、機械の供給面で必要以上の手数料を頂かないことで結果的に組合員の経営に寄与していると考えます。今後においても、通常農機具についてはこのような方法で安価で供給させていただきますが、農業振興上普及が必要と思われる機材については改めて検討いたします。</p> <p>自己改革は政府から期限を定められた中で取り組んでいます。組合員の皆様が農業所得の向上に取り組んでみようという気持ちになるよう、役職員が働きかけをするというスタンスで改革を進めていきたいと考えております。それが本当の姿だと考えます。</p> <p>J A内部からの仕掛けを求めています。残念ながら今までの習慣を変えられず、自らの発想での変革について醸成できていないところは農協改革を求められている部分かもしれないと反省しております。今後農家のみなさまが実感できるような仕掛けしていかなければならないと認識をしており、職員の心を一つにして、この改革に取り組んでいきます。</p> <p>また新しい事に対する挑戦は、今まで行ってきませんでした。その部分の意識改革は必要であると考えます。</p>
<p>島田北支店</p>	<p>島田北支店の委員会の意見として申し上げます。</p> <p>当地区は傾斜地の栽培でどんどん衰退している。代替え作物として（複合できるもの）積極的にJ Aで真剣に取り組んでもらいたい。お茶農家も限界に来ているので早急に取り組んで頂きたい。</p>	<p>賑わい交流事業につきましては、当初、道路の拡幅に伴う移転の問題から発展しました。しかし、この事業は、農業所得の向上、地域の活性化が大きな目標であり、これは間違いないと確信しています。</p> <p>複合作物は喫緊の課題であると考え、自分の地域でもそうですが、荒廃農地が増えており、その荒廃農地と新規参入者をどう結びつけていくか</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
大津支店	<p>以下は個人的意見ですので回答は不要です。</p> <p>R473の賑わい交流拠点事業について、既に可決されたのでとやかく言うことではないが、当初の「拡幅工事に伴って」という部分については、きっかけであるから、これからは目的を明確にしていくべきではないか。</p> <p>自己改革については幾度となくスライド等でみているが改善にすぎない。農業に対する改革には見えない。これからは、耕作放棄地、農業経験のない相続者が多く出てくるはずである。そういう人たちのために農協として地域の農業を守るためには何をすべきかみんなで考えていくのが改革であり、JA大井川らしい、他とは違う物を打ち出して欲しい。</p> <p>上半期の利益は1,000万円、計画対比22%しか出ていない。JA大井川は上半期で出た利益を下半期で消費していく流れである。このままでは決算に懸念がある。</p> <p>職員のボーナスの支払いはできるのか。決算時に売却できる証券はあるのか。JA大井川職員の給与は、県下でも低い方である。決算についてどのように考えているのか。</p>	<p>が大きな課題となると考えます。</p> <p>お茶は、今では数ある飲料の中の一つに過ぎないが、お茶の文化もまた重要であります。現在高級茶をいかに販売していくか、内部で検討しております。</p> <p>荒廃農地の問題については各地で相談を受け、行政との連携だけでなく、鳥獣害被害も含め、お茶の土壌に何を植えたらいいのかなど、しっかりと考えていきたいと思えます。</p> <p>複合作物については、落花生、渋柿、生姜など各地域で取組んでいますが、残念ながら数的には少ない状況です。新しい作物も重要であるがレタス、苺等の共販作物については、市場からの要望が多く、まずは規模拡大出来る方、新規に取り組める方をお願いしたいと考えています。適地適作については今後考えていく予定です。</p> <p>決算状況はご指摘通りであり厳しい数字であります。マイナス要因としては、利ざやの縮小・手数料の減少があります。計画数値にはなんとしても達成するという事で、明日から各部門とヒアリングを予定しています。</p> <p>「追加回答」</p> <p>各部門との入念なヒアリングを行い、その結果、JA大井川全体の事業利益計画を達成するための協議を行うことが出来ました。今後どうしたら事業計画を達成できるか企画会議等の中で徹底的に議論していく予定です。</p>



**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
	<p>学識経験理事について J A大井川で過去に職員の採用があったか。また県下でもそういう事例があったか。</p> <p>お茶の関係については 3,000 万円ほど利益が出ているがなぜか。過去にはキタハイ地域のお茶については何度も欠損がでている。島田、岡部については幹旋業務。藤枝は使用する分だけの仕入れ。キタハイは買い取りを行っていたが、5・6年ほど前に幹旋に切替えたはずであるが、まだ買い取りを行っている。このお茶の在庫は適正とっているが危険な数量である。</p> <p>金芽米の 30 kgの買い入れについては、300 円の上乗せで買っていると聞いた。30 kg 7,800 円で買い、金芽米が 2~2.5 kg 4、5 千円で売っている儲けはあるのか。</p> <p>金芽米はいろいろな制約があり普通の米と変わらず所得の向上についつながらないと考える。</p> <p>金芽米 30kg いくらで買い取っているか？</p> <p>最後に今回の座談会については、回答書を頂きたい。</p>	<p>学識経験理事については、上期に前任の松浦常務が体調を崩し退任され緊急事態ということで、今回の対応となりました。中央会にも相談し定款に触れることはなく、今回の事態・状況から問題ないという回答をうけたことから、提案させて頂きました。</p> <p>職員採用については、J A大井川合併当初にも事例がありました。また、三ヶ日農協でも現在職員が学識経験を務めています。</p> <p>高付加価値米研究会を設け、事業を行っています。今後も生産拡大を図るためにもしっかりと組織にして生産体制を築いていきたいと考えます。</p> <p>農家所得の向上を目指しておりますが、金芽米としての合格基準が厳しい中で本年は相当量が生産できると思います。</p> <p>また、いろいろな販売戦略を練り現在取り組んでいます。</p> <p>価格については 1 万 8 千円~2 万円で売る方もいますが、組織としては、経済連への販売や出口戦略を立てる中でしっかりと販売できるよう取り組んでいます。</p> <p>お茶については、昨年度は、26・27・28 年度分の在庫を処分したということで数字が悪かったが、本年はそのような在庫処分することなく最後までいけると思います。</p> <p>「追加回答」 買取価格は、30 kg 8,000 円（税込）です。</p> <p>他の地域でも同様の意見がでている。全地区終了したところで、統括本部を通して回答します。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
中溝支店	<p>農協の利益の減少と聞いて思うことがある。 農協が本来やるべき事をやっていないのではないか。いろんな要因があるが、葬祭事業、ガソリンスタンド、自動車など、間口を広げすぎではないだろうか。利益を上げるためにはもう少し反対する人があっても良いのではないか。こうなる前に何か方策がなかったのかと思う。</p> <p>35億の投資についても成功する裏付けがない。間口を広げて儲かるとは限らない。今からでも手遅れでないから慎重に対応すべき。</p> <p>これからの大変な社会情勢のなかでもう少し農協がしっかりとしなければいけない。</p>	<p>貴重なご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>「追加回答」 私たちJAは、営農・経済事業や金融・共済事業を軸として、皆様の暮らしに寄り添った「総合事業」を提供することで一体的にサポートする仕組みを構築しています。</p> <p>「追加回答」 賑わい交流拠点の事業内容は、コンサルタント2社による商圈調査のもと、導き出された数字です。しかし、商圈調査はあくまでも参考と捉え、さらにお客様を呼び込む為の多くのイベント開催や商品開発、テナント誘致、体験プログラム等で、集客対策の肉付けを行っていくことが重要と考えています。</p>
金谷支店	<p>金谷地区の基幹作物はお茶です。茶業センターの人事についてはもう少し配慮して頂きたい。</p> <p>農薬と同じように肥料も割引率を上げて欲しい。</p>	<p>茶業センター職員は専門性を有していなければならないが、専門部門で長く働いていると他の部門が全然分からなくなってしまうケースもある。バランスを考えると大変難しい問題。茶業の現況は右肩下がりで厳しいが、専門性を要する職種なので人を育てていかなければならない。これからはそれらを含めて考え対応します。</p> <p>肥料については、どこの座談会会場でも同じ意見が出る。単品で比較すると商系の商品よりも安いものもある。農協は、営農指導そして価格の設定を含めトータルして考えていく。また、共同購入の場合には特典があると思うが、日頃からマーケットリサーチを行って取り組みます。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
川根南支店	<p>茶業センター独自で指定工場を作る意思があるか。</p> <p>座談会をやって色々な意見が出るが、その意見に対して本店からの回答がない。</p> <p>R473 賑わい交流拠点事業については先日の臨時総代会で承認されたが、うまくいかなかった場合にはどう考えているか。</p> <p>農業所得向上のため、タキイ園芸学校へ出向してきた職員が座談会で説明をするとの話があった。今日の席上にはいませんがどうしてでしょうか。</p>	<p>特定の指定工場を作って取引をしていくことは安定して良いが、いろいろな問題もありますので検討します。</p> <p>「追加回答」</p> <p>現在、茶商では時期の仕入れにおいて系列化が進んでいます。系列化のメリットとして買い手においては、原料茶が安定して計画仕入れができる。売り手においては、安心して生産・製造ができ安定した収入が見込める等が挙げられます。茶業センターにおいても、取引先から特徴のあるものを安定して供給して欲しいとの声もあり、これまでも特定の茶農協の名称を冠して製造しています。しかし、本来は仕入先を特定することなく万遍なく仕入れすることが茶業センターの責務と考えますので、指定工場とする意味合いや根拠が不透明なため現時点では見合わせていただきます。</p> <p>昨年の座談会を見直して今年度の座談会については、全地域の座談会終了後に精査を行い全支店へフィードバックしたいと考えています。</p> <p>たいへん大きな事業である。理事会の席上で出資・運営の面においても協議されて承認されている。失敗は許されないので成功するために取り組んでおりその姿勢を見せていきますのでご理解願います。</p> <p>臨時総代会の議案説明会席上では、タキイ園芸学校へ出向した職員が近況報告をした。今後、皆様がお集まりになられる席上でそのような機会を設けさせていただきます。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
五和支店	<p>組合員アンケートについて常勤役員も組合員のお宅に訪問されているとのことですが、その時の様子を聞かせてほしい。</p> <p>高齢化や後継者がいないことが原因で茶園の耕作放棄地が増えている。貸農地情報提供に力を入れていただきたい。</p>	<p>「追加回答」</p> <p>今回の座談会には内部の調整が合わず説明ができませんでした。大変申し訳ありませんでした。今後は、機会を見つけ説明をさせていただきますと考えています。</p> <p>小さな農家が今後農業を継続していくにはどうしたら良いのか模索し心配しているというご意見を伺いました。</p> <p>非農家であっても農業指導をしてくれるのか相談されました。</p> <p>准組合員宅の訪問で貯金関係の相談を受けました。</p> <p>荒廃農地対策については農業委員会でも大きなテーマとして取り組んでいる。農協にとっても大変重要な課題。両者が連携を取って対処していかなければならないと考えます。</p> <p>農地集積・荒廃農地対策についての現況を報告します。農地利用円滑化事業の契約更新時期となり、農地中間管理事業に切り替えを行っている。残念ながら、茶園については借り手が殆どいない状態。この事業の実績の中心は焼津市の水田。施設の関係については、後継者が増えている作物にいちごがある。新規就農者には、1年の研修後に農地等の斡旋を行っている。平成15年に農業振興課で農地の貸地情報をインターネットのサーバーにのせる試験的な取り組みを実施した経緯がある。何より茶価を上げる対策をとり、茶園の借り手を増やす風土を作っていくことが大切だと考えています。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
川根南支店	<p>花卉部会やいちじく部会で育てた新人職員が1年で異動してしまいました。職員の人事異動については、3年か4年を目途にして欲しい。</p> <p>農協の自己改革は何を目指しているか。</p> <p>周りの農協はJA大井川より経営が悪くないと認識しているが、今の経営状況をどう考えているか。</p>	<p>信用・信頼関係を築かなければならない職種もある。人事異動は、注意しながら極力対応していきます。</p> <p>自己改革を実現する為に、農業所得向上と地域の活性化の実現に向けて事業展開してきた。特に出口を確保した中でお茶の販売を増やしていくという考えで賑わい交流拠点構想がある。賑わい交流事業を行うにあたり全国のいろいろな施設の視察を行った。施設を視察して職員や出荷生産者の活気の良さを感じた。ワクワク感で地域を巻き込んだ改革に取り組んでいきます。</p> <p>今年度上半期の事業利益が厳しいことは危機的状況だと考えている。近隣のJAでは経営の効率化・合理化に向けて支店の統廃合を検討していく。取り急ぎ下半期をどうするのか、職員とともに同じ方向を向き意識統一を図り取り組みます。</p>
中川根支店	<p>今回支店統廃合により3支店が1支店に統合することになった。現在各支店で説明会を行っている。無くなる支店の組合員対応として移動ATM車両等の対応が考えられるが、組合員を送迎する車両の配置を検討して頂きたい。また、生活必需品を支店に充実させて欲しいという意見も多数あった。</p> <p>年金歌謡ショーの参加状況を教えてほしい。</p>	<p>ATMと窓口端末機を搭載した移動車両を来年3月に導入する予定です。中川根地区管内でも移動店舗の候補地調査をした。警察から店外ATMでは防犯上注意を受けている。今後は、店外ATMを廃止して移動車両対応に切り替えしていく予定である。尚、移動車両は災害時の対応として助成金を受けて導入するものであることを付け加えさせていただきます。</p> <p>年金友の会会員約42,000名、歌謡ショー参加者約20,000名。参加率は、約47%です。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
	<p>組合員を送迎する車両についてはどうか。</p>	<p>運送法等の絡みもありこの場での回答はできかねます。</p> <p>「追加回答」</p> <p>組合員を送迎する車両の配置を検討して欲しいとの質問ですが、JAが営業用でコミュニティバスを導入する場合、静岡県に運送手続きを申請し国の許可を受ける必要があります。また、川根本町にも問い合わせしたところ、川根本町では高齢者等の交通弱者の方を対象に外出支援として、町営バス及びデマンドタクシーの運行をしているため、そちらを利用いただきたいとの話でした。JAとしましても、新たにバスの運行を導入するには、多くの手続きを踏むことや経費面を考慮し、その他のサービスとして来年3月導入予定の移動店舗車両での対応とさせていただきますのでご理解をお願いします。</p>
<p>金谷支店</p>	<p>地区の座談会では、どんな座談会に出ても回答が無いとの意見が出た。先ほどお答えいただいたが、いつまでに精査し支店へ回答をいただけるか。総代会の資料に組合員の意見がどれだけ反映されているのかを掲載して欲しい。</p>	<p>ご期待に添えるよう早急に対応したい。総代会資料は、年間の事業や事業計画数値が主になっている。組合員の意見が反映され内容になるよう企画部を通じて進めていきたいと思えます。</p> <p>座談会は6会場で開催している。たいへんボリュームがあり回答の日にちを示すことができない。纏まりしだい支店長を通じて回答させていただきます。</p>
<p>五和支店</p>	<p>マルシェがスタートした。早急に社長を決めていただき、PR用のビデオが実現されるよう早急に対応していただきたい。</p>	<p>マルシェについてはこれからは本番。来年の3月までには民間を含めた中で決定していきますのでご理解願います。</p>

**閲覧用** 平成30年度地域座談会 結果報告書

質問者支店	質問・意見	答弁
金谷支店	<p>農業共済で平成31年1月からすべての農産物を対象に収入減少を補てんする「収入保険」が始まるが、不足分を補う農協の新商品等準備があるか。準備が無ければ考えて欲しい。</p> <p>マルシェのレストラン関係です。最初は地元の農産物を使って地場産の郷土食や地域食を作りたいと説明を受けていたが、先日イタリア料理を作ると聞いた。イタリア料理でお茶が出されるのか心配している。</p>	<p>営農・共済を含めた中で対応していかなければならないと考えている。ご提案をいただいた内容で取り上げていきたいと考えます。</p> <p>「追加回答」</p> <p>JA大井川で共済の新商品を準備するには法律的に困難です。そこで、共済連に確認したところ、新商品として取扱いの予定はないため、農業共済の収入保険をご利用願います。</p> <p>レストラン以外でマルシェにはお茶をふんだんに紹介するスペースが別途確保されていることをご認識いただきたい。一流の物を品揃えとして置かないと集客の面で見劣りされてしまう。ただ農家の色合いを前面に出していきたいので、レストランの中には直営の農家レストラン的な機能とイタリアン料理のような若い世代が来店してくれる機能とを併設したらどうかと検討していく。100万人を集客するには相当な魅力が必要。コンサルタント代表の方にはクッキングフェスタに参加していただいた。こういう料理やアイデアがあるならば、内外に発信していきたい。今日のご意見は持ち帰りましてコンサルタントに申し入れをいたします。</p>
金谷支店	<p>代表組合長が長期の病気療養中だが、その間の農協運営の停滞状況をどのように考えているか。</p>	<p>組合長は9月からドクターの診断書に沿って出勤している。この半年間、私を含めた常勤役員・理事の方々・職員がそれぞれの立場で協力し乗り切ることができた。役職員含め意識改革を自己改革の一環として進めていきたいと考えているので、これからもご指導をお願いいたします。</p>